（様式1）

学校番号	40	学校名	茨城県立鹿島灘高等学校

令和8年度道徳教育全体計画

諸法規

・日本国憲法
・教育基本法
・学校教育法
・学習指導要領
・茨城県教育委員会施策

校訓

自立　　協学　　創造

学校の教育目標

1　単位制の特性を生かした創意ある教育課程により、主体的に学ぶ姿勢と確かな学力の育成を図る。
2　豊かな人間性を培うとともに、生涯にわたり学習する意欲と態度を育てる。
3　コミュニケーション能力の育成を通して、積極的に社会に参加し貢献する態度を育てる。

生徒の実態

昨年度単位制開設18期目の卒業生を送り出した。例年、新入生については、昨年までと同様、集団生活や人間関係づくりが苦手で仲間と一緒に活動できるまでに時間がかかる生徒が少なくない。上級生においてもコミュニケ-ション能力の育成は課題となっている。

保護者の願い

基礎学力の定着や向上はもちろんのこと、集団生活や人間関係作りが苦手な生徒が多いためか、他者の気持ちを理解して行動することや、基本的生活習慣を身に付けることを望む保護者も多い。

道徳教育重点目標

1　基本的生活習慣を確立し、節度を守り節制に心掛け、心身の調和ある生活の実現に努める。
2　他の人々の立場を尊重し、感謝と思いやりをもって接する。
3　生命の尊さを深く理解し、かけがえのない生命を尊重する。
4　集団の意義について理解し、役割と責任をもち、他者との協力関係の向上に努める。

地域の実態

学校周辺は農村地帯で素朴な土地柄である。一方、近隣には鹿島臨海工業地帯として発展した地域がある。

各教科・科目

国語	多くの文学作品の世界にふれることで創造力や心情を豊かにする。また授業で敬語や言葉遣い等について取り上げることで言葉の大切さや表現力を養う。
地歴	日本や世界の歴史や生活・文化・環境についての理解を深め国際社会の中で主体的に生きていくに足る自覚と資質を養う。
数学	基礎的な概念や原理・法則を理解させ、日常生活における数学的能力を養う。
理科	探究的な学習を重視し、自然を探究する能力や態度を育成するとともに、生徒一人一人の能力・適性・興味関心に応じて、科学的素養を養う。
保体	保健科目では、「自己実現」に向けて夢を持つことが豊かな人生につながること、体育科目では、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力を育てる。
芸術	基本的な技法を習得し、鑑賞や実技を通して、豊かな創造力や情操を養う。
外国語	外国語を通じて、言語や文化に対する理解を深め、コミュニケーション活動を通して、他者理解を図ろうとする態度を育成する。
家庭	家族や生活の営みを人の一生との関わりの中で捉え、人間として自立した生活が送れるようによりよく生きる力を育てる。
情報	情報モラルと情報活用のマナーを身につける。
総合的な探究の時間	（第1年次） 生徒一人一人が道徳的価値や人間としての在り方生き方に関する自覚を深め、豊かな心を育て、未来に向けて人生や社会を切り拓いていこうとする道徳的実践力を高める。
	（第2・3年次） 地域や人々と関わる様々な体験活動を通して自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を養う。また、自己の在り方生き方を考え、学習や生活に生かし、総合的に働くことができるようにする。
専門	豊かな人間関係づくりの育成をめざすとともに、心理学についての理解を深めることで、対人関係スキルを学ぶ。

特別活動

ホームルーム活動

心身の調和のとれた発達、個性の伸長を図り、集団や社会の一員として、よりよい生活を築こうとする自主的・実践的な態度を育てる。また、人間としての在り方生き方についての自覚を深め、様々な集団で他とのかかわりにおいて自己を生かす能力を養う。

公民科

公共

現代社会を中心に制度・現象・課題等を主体的に把握、理解、考察し、人間としての在り方生き方についての自覚を深めるとともに、民主社会の有為な形成者として必要な公民としての資質を養う。

生徒指導

マナーアップキャンペーンや生徒支援集会等をとおして、規範意識の高揚を図る。
また、「豊かな心」を育む教育活動とその実現のために、教職員の共通理解のもと、教育相談的に生徒と関わるなどの資質向上や指導体制づくりを行う。その一環として、「個に応じた指導研修会」などの校内研修を充実させ、全職員が一丸となって生徒理解に努める。

家庭との連携

PTA行事や授業参観、学校アンケートの実施などを通じ、家庭との密な連携を図る。また保護者面談を充実させ、家庭と協力しながら生徒理解や生徒の豊かな人間性の育成に努める。

地域社会との連携

鹿嶋市主催海岸清掃ボランティアや、ハマナス等希少植物の保存活動、花いっぱい運動、さわやかマナーアップキャンペーンなどを通じ、地域社会と協力しながら生徒の豊かな心の育成に努める。